



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

理事通信 2022年 11月号

編集 & 発行・西日本区理事事務局

- 理事メッセージ
- 西日本区強調活動（11月）
- 今月の聖句
- メネット委員会報告
- 各部便り
- 各部会報告
- クラブ活動紹介
- 11月の予定
- ロースター&ハンドブック
データ移譲式
- キャビネット便り

◇主題 **原点を知り将来に生かす！**
Know the origin and utilize it in the future!

◇副題 **立ち上がれワイズ モットーと共に！**
Stand up Y's Men with our Motto!



第26代 西日本区理事
田上 正

朝夕が冷えてきて一日の寒暖差が大きくなってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか？ 今年の冬はインフルエンザとコロナが流行するという予想もあり、ダブル予防接種をされている方もおられることでしょう。

24日の中部部会は前日の前夜祭からリアルで開催されました。ホストクラブの金沢クラブの創立75周年記念例会も同日開催でしたので、中部の団結と金沢クラブのEMCへの健闘を見ることができました。特別講演は復元画家末松智氏による「復元画でよみがえる金沢城と藩士たち」でした。また山内ミハル部長の教え子さんグループのフラダンス、および西日本区フラガールのコラボも楽しませていただきました。

アジア・太平洋地域では9月23日にEMCセッションを開催されました。京都トップスクラブの牧野篤文ワイズに西日本区の成功例として同クラブの取り組みを紹介していただきました。

10月1日に九州部部会が熊本市で開催、NPO法人ナリビトの山下祈恵氏に「親を頼れない若者たちの現状」の講演をお聴きしました。懇親会では久々に密の会となり、熊本城のライトアップを楽しみながら交流を深めました。今村格部長とその後コロナに罹られた方はいないかと心配していました。

10月8日は大阪市で中西部部会が開催されました。福島眞一部長の計らいで私の講演「救命から看取りまで」をしましたが、ワイズ以外の方々が大勢来られたのでワイズの宣伝もさせていただきました。木谷悦子氏のクロマチックハーモニカの演奏は素晴らしく感激いたしました。

10月15日は彦根市でびわこ部会が開催されました。会場が結婚式場だったので林宏一部長がゴンドラで天井から降りてこられたのはびっくりでした。「美と不思議の世界」と題して世界の昆虫収集家臼井仁司氏の講演と世界中の珍しい標本を見せていただきました。

10月22日、23日は熊本城彩苑と阿蘇キャンプを会場にして第2回役員会を開催しました。ワイズの将来につながる重要な議案や協議案を話し合うことができました。議事録がまとまりましたら報告いたします。懇親会に阿蘇クラブの皆さんも参加いただき、赤牛の丸焼きをごちそうになりました。

楽しみにしていた台北で11月15日から17日に予定されていたワイズメンズクラブ国際協会創立100周年祝会（台北）は来年の3月10-12日に延期になりました。オミクロン株の感染は9月初旬にピークとなり徐々に収束に向かったと思ったのも束の間、再び勢いを取り戻そうとしています。油断せず、感染対策を十分に取ってまいりましょう。

楽しみにしていた台北で11月15日から17日に予定されていたワイズメンズクラブ国際協会創立100周年祝会（台北）は来年の3月10-12日に延期になりました。オミクロン株の感染は9月初旬にピークとなり徐々に収束に向かったと思ったのも束の間、再び勢いを取り戻そうとしています。油断せず、感染対策を十分に取ってまいりましょう。

ひとこと 「おい お茶」

朝ごはんの前、メネットから「何を飲む？」と聞かれる。コーヒーは自分で淹れるので、日本茶、紅茶、麦茶、牛乳などになる。どれにしようかと一瞬迷っていたら、また聞かれた。気合をいれて「おい お茶！」と答えたら、「そんなものはない！自分で準備しなさい」と叱られた。

後日このネーミングの響きが男尊女卑的ではという批判やそれに対する反発もあることを知った。販売元の伊藤園はそのような意図はなくこれまでに商品名を変更してほしいといった要望や問い合わせはないと言う。無論メネットを尊敬しているので私にもそのような意図はない。

西日本区強調活動

11
月

A S F Alexander Scholarship Fund (アレキサンダー奨学基金)

YMCAサービス

YMCAに行きましょう。

そして、スタッフ・リーダーと対話しましょう。

清水 淳 Yサ・ユース事業主任
(とやまクラブ)

今月の聖句

二人のことでくじを引くと、マティアに当たったので、この人が十一人の使徒の仲間に加えられることになった。

使徒言行録 1章26節

聖書の小窓

「祈ってくじ引きで」



西日本区チャプレン 立野 泰博

まもなく年末ジャンボ宝くじの季節がやってきます。宝くじのいいところは当選したらなにをしようかと夢を描けることだと言われました。ある期間夢を見ることができるのは幸せではありますが。

ある牧師が「宝くじが当たる祈り方」という話をしていました。その牧師がいうには、多くの人が宝くじを買って祈っている。「3億円あたりますように」とか「せめて100万でも」とか。しかしそれは、祈り方が間違っているというのです。金額を出して祈るのは、神様に命令しているようなものだとか。

それではどのように祈るとあたるか。「わたしにとっていま必要な金額をあててください」だそうです。そうすると大抵は3千円当たると。つまり買った値段だけが返金されてくるということでしょう。本当かなと思いますが、神様が宝くじを当てて下さらないのは、間違った人生を歩まないためだというのです。くじ引きにも神様のご意思が働いているのです。

聖書のなかでもくじ引きがあります。裏切りのユダに変わる使徒の選出がくじ引きでした。それは神様のご意思だと聖書はのべています。いわゆる使徒の補欠選挙は1回限り、祈りとくじ引きで決められたのです。すべては「神によって」が大切なことなのです。

第2回メネット委員会報告



紅葉が一段と色を増す季節になり、街のお店には栗や柿が並びました。ワイズ活動へのご奉仕に感謝申し上げます。

9月15日（水）第2回メネット委員会をオンライン（ZOOM）で開催いたしました。

2023年2月4・5日で開催される第3回東西日本区交流会実行委員会からメネット交流会を行ってはそのご提案を受けて、西日本区から6名と東日本区から6名のご参加をいただき、メネット交流会について意見交換を行いました。当日は同時刻に分科会があり、神戸のメネットの皆さまを中心に「ぶら神戸」が計画されておりますので、改めてメネット交流会を行っても参加者が少ないのではとのご意見が多く、メネット交流会は行なわないこととなりました。また、物販についてのご提案があり、2月4日の開会前にホワイエで物販を西日本区メネットの皆様で行う予定です。今後、メネット委員会で検討してまいります。

その他、坂本千春アジア太平洋地域ワイズメネット事業主任から国際のメネットの現況について報告がありました。

第26回西日本区大会メネットアワーについてもメネットの皆様楽しんでいただき、交流ができるよう企画いたします。

部・クラブでのメネット活動の手伝いが必要な場合はご連絡いただければ地域奉仕・環境事業と相談し、協働でお手伝いさせていただきます。様々な課題がありますメネット活動ですが、西日本区のメネットが元気に交流を深め、クラブや部のみならず区におきましてもワイズ運動への支援協力が出来ますように努めてまいります。

メネット委員会代表 吉本典子（熊本ジェーンズ）

各部便り

中西部

隠れキリシタン遺跡巡りハイキング

芝田 光雄

2022年10月1日（土） 場所：茨木市

（大阪センテニアルクラブ）

阪急茨木市駅に総勢17名が8時45分に集合し、茨木市のボランティアガイド2名の方のご案内で路線バスに50分ほど乗ったところの千堤寺口の停留所で下車。2チームに分かれて行動することになりました。そこから歩くこと10分程度の所から新名神高速道路が見る高台から話が始められました。

この道路を作るにあたって山々が削られていき、その中から多くの遺跡が発見されたそうです。それから山里にある墓碑を見た後、キリシタン遺物資料館を見学に行き多くの遺物を見ることが出来ました。寺山-竜王山荘-大神家前-見山の郷-高雲寺-忍頂寺と万歩計16,000歩、距離10kmでしたが山道なので20,000歩くらい歩いた感じです。

隠れキリシタンと言えば九州の島原や天草、五島列島が有名ですが、この地域の遺物は発見された当時から学者の方がかわかり整理整頓ができている一級品の資料とのこと。興味ある方は一見の価値があります。



山里にある墓碑



大阪府下とは思えない里山



西中国部

「るうてる食堂 クレヨン」

立野 泰博
(熊本ジェーンズクラブ)

コロナ禍の中、なにもできないのだろうか。いまやらなきゃいけないことがあるのでは。そんな悶々とした日々のなかで2021年8月こども食堂「夕焼けぽっぽ」に出会いました。コロナ禍で人と人、地域社会が分断されているときでした。出会ってすぐに「これだ」と直感しました。そして10月に「るうてる食堂クレヨン」をはじめました。

こどももおとなも誰でも食堂とし、だれでもフラッと参加できる地域コミュニティ食堂として始めました。10月で1周年を迎えました。これまで広島、福山、岩国みなみワイズメンズクラブに支援をしていただきました。

まず、るうてる食堂クレヨンに広島ワイズメンズクラブのメネット会が食べに来て下さいました。よく見ていただき、お話を聞いてくださいました。その後広島ワイズメンズクラブのメネット例会に招かれ、「るうてる食堂クレヨン」（こども食堂）についての話をさせていただきました。話の中で、ワイズメンに「何が必要か？」と聞かれたらというテーマでいくつか提案をしました。するとすぐに答えて下さり、新鮮野菜をはじめワイズポテト、リユースこども服、若いママさんの服、おもちゃを提供してくださいました。メネットさんそれを支えるワイズの働きの速さに感動しました。

その例会におられたのが福山ワイズメンズクラブの方々。なんとすぐに新鮮野菜を定期的に届けて下さっています。例会もるうてる食堂でしていただきました。冬は水餃子をこども食堂で提供できないかと考えて下さっています。

さらに、夏場はこどもたちにソーメンをとFacebookで呼びかけたところ、岩国みなみワイズメンズクラブからすく10箱揖保乃糸が届けられました。それを用いて広島女学院管理栄養学科の学生さんたちと「広

島女学院ごはん」のこども食堂を行いました。もちろんワイズ玉ねぎ、カボチャもいただきました。次々に届けられる支援はみな無駄にせず使い切りました。熊本クラブから吉次の西瓜（高級）、熊本ジェーンズクラブからみかん他！さらに阿蘇クラブの藤本ワイズからは美味しいオリーブ豚！漏れてないかなと思うくらいワイズメンに支えられています。

企業さんから協力もあります。アンデルセンさんからは毎回パン！明治乳業さん、カルビーさん、コストコさん、マクドナルドさん、カタログハウスさん、ハウス食品さん、愛媛ギノ一味噌などなど。フードロスをなくすための働きもありますが、無料提供ですのでこどもたちは大喜びです。

こども食堂はこどもの貧困のための活動ではありません。たくさんの可能性を秘めている活動です。一番大きなことは「地域コミュニティの再生」です。こどもの見守り、子育て支援。シニア、ホームレス、青少年、ボランティアの居場所づくり。食育、フードロス、リユース活動。さらには学習支援などなど。シングルマザー、シングルファーザーの支援もあります。地域に住んでいるアジアから来ているこどもたちの日本語学校。海外からの留学生はお国自慢の料理をつくってこどもたち地域の皆さんとの交流。さらにはフリーマーケットを計画中です。たった一つのこども食堂を中心に輪がどんどん広がります。それを根っこで支えて下さるのがワイズメンズクラブの皆さんです。

こども食堂からみえてくる地域コミュニティの在り方、これからも可能性をいつでも例会にお話にて

かけます！ 勢いで始めたるうてる食堂！ その勢いがつながりを広げています。



るうてる食堂クレヨン 1周年

日本福音ルーテル広島教会

第26回中部部会・金沢クラブ創立75周年記念例会

金沢でのおもてなし

部長 山内ミハル

9月23日（金）～24日（土）第26回中部部会・金沢クラブ創立75周年記念例会を開催しました。

23日18:30、前泊された方の為前夜祭を開催、33名参加。「記録はとらず、録音無し」で自己紹介から始めました。「記録なし」の安心感とアルコールの助けがあって、参加者の口は軽くなり、ワイズに入ったきっかけ、趣味、特技、はてはお連れ合いとの出会いからゴールインまでの経緯と、日頃聞くことのなかった話が次から次へと飛び出し、笑いと拍手が途切れること



ともなく、中学生、高校生のお嬢さん、男子大学生の将来の夢にも拍手喝采。33名全員の自己紹介で、アツという間に2時間が過ぎ、終了後、夜の香林坊に繰り出した元気な一団もありました。

翌24日9:00から希望者10名で、観光ボランティアの案内により、加賀藩主前田利家公が祀られている尾山神社と金沢城跡を訪ね、玉泉園のお茶席で一服。13:30からの中部部会には103名の参加を得て、来賓紹介の後各事業主任・主査から前期の活動報告と今期の方針が述べられました。続いて中部6クラブの会長から、EMCを念頭に置きながらの活動方針・計画が発表されました。名古屋南山クラブが今期をもって解散するとの報告に寂しさを覚えました。



15:00から金沢クラブ創立75周年記念例会が行われ、参加者103名で開会点鐘に続いて金沢市長、西日本区理事、日本YMCA同盟会長他、来賓の祝辞をいただいた後、「復元画でよみがえる金沢城と藩士たち」と題して歴史考証復元画家末松智氏が描いた復元画を元に、鼠多門や二の丸御殿正面玄関がどのように再現されたか、建築学的考察や文献から当時の時代背景を紐解きながら、ロマン溢れる語り口調に、在りし日へ思いを馳せることができました。



また、金沢城は実はキリシタン大名である高山右近と宣教師達の影響を受け、南蛮寺やバビロンの空中庭園を模しているに違いないという見解や、三代利常の生母寿福院の姿を解剖学的要素で緻密で繊細に復元していく過程など非常に興味深い内容の講演がありました。

続いて、竹澤佐江子氏のフラスタジオの方々8名によるフラが披露されました。コロナ感染者数の比較的少ない金沢での久しぶりの対面による懇親会は、加賀料理をふんだんに盛り込んだ金沢名物のどじょうの蒲焼き、金沢を代表する煮物の治部煮、加賀野菜をつかった金時草の揚げ物、五郎島金時



ムースの美味しいお食事とメン、メネットの交わりを深めたようです。2年間 ZOOM でレッスンを重ねてきたワイズメン・メネットによるフラのサプライズは最高潮に盛り上がり、会場の皆さまもステージに上がってフラを楽しみ、会場は拍手大喝采でした。

開催地金沢での精一杯のおもてなしにて皆様をお迎えできましたことを感謝申し上げます。

「親睦、自己研鑽、奉仕」への架け橋

部長 林 宏一



10月15日（土）午後、陽の当たる場所では汗ばむほどの秋晴れの下、JR彦根駅に程近いマリアージュ彦根において第27回びわこ部部会を開催しました。



来賓の西日本区 田上正理事、滋賀YMCA久保田正紀理事長（滋賀蒲生野C）をはじめ、アジア太平洋地域および西日本区の役員の方々にも多数ご参加いただき、登録申込者総数は124名でした。



第1部式典の冒頭では、びわこ部6クラブ（近江八幡、彦根シャトー、長浜、滋賀蒲生野、高島、彦根）の会長によるバナーセレモニーを行い、会長主題が表明されました。

第2部特別講演では、「美と不思議の世界」と題し世界の昆虫収集家：臼居仁司氏により、蝶々に魅せられた少年時代から現在に至るまでの60年余に及ぶ豊富な経験と知識を、美しく妖しい驚きの映像とともに語っていただきました。

講演後の懇親会ではワイズの仲間と親しく交流のときを持つことにより、ワイズメンの社会的な健康をより一層増進させることができました。「親睦、自己研鑽、そして奉仕」は私の部長主題ですが、これまでの多くの部会においてそれぞれ「親睦、自己研鑽、奉仕」の三事業をつなぐ架け橋づくりに取り組んで来られたのだ、と認識をした次第です。

部会開催に格別なご支援・ご協力をいただいたびわこ部各クラブの皆様には紙面をお借りして心から感謝申し上げます。



楽しく！ 楽しんで！ 楽しかった！

部長 福島 眞一

2022年10月8日（土）に中西部部会を開催しました。147名の方に登録をいただき、ANAクラウンプラザホテル大阪 万葉の間がいっぱいになりました。

3年ぶりの開催となった今回の中西部部会には、ワイズの関係者以外の方にたくさん参加していただこうと色々な人に声をかけ、ワイズの関係者が115名、以外の方が32名となりました。

第1部の式典では、大阪YMCA小川健一郎総主事と西日本区 田上正理事にご挨拶をいただきました。中西部の役員と新入会員の 藤井考三ワイズを紹介しました。

第2部の講演では、田上正理事に「救命から看取りまで」—35年前に取り組んだECMOの研究、緩和ケア専門医として在宅医療と地域医療について—と題して、医師として今までやってきたことを話していただきました。種子島で生まれ、熊本で医師となり、緩和ケア専門医として請われて東京の大学に変わり、退職後は熊本に戻って在宅診療をしておられる事話されました。基本は、患者さんの立場に立ってが大切だと。「Hope for the best, prepare for the worst」、人生の最後までを話していただきました。

第3部は、お食事と歓談。参加者の紹介と進みました。食事が一段落したところで木谷悦子さんのクロマチックハーモニカ演奏がありました。“アメージンググレイス”の演奏が始まると、今までのハーモニカ演奏のイメージと違っての大迫力に皆さんが引き込まれているのがよく分かりました。木谷さんの話も上手で、“恋人よ”“リベルタンゴ”“川の流れるように”が演奏されたときには、今日の部会は皆さんに満足して帰っていただけると確信しました。スタンディングオペレーションが起こり、アンコールとして中島みゆきの“糸”が演奏され、これも大変素晴らしかったです。

今年中西部は、“コミュニケーション！”と“楽しい！”をキーワードとしています。皆さんにワイズの活動は、“楽しく！ 楽しんで！ 楽しかった！”と再認識し、実感していただけたと思います。

この会の運営に携われた中西部の皆さん、土佐堀クラブの皆さんに感謝申し上げます。

参加して下さった皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



熱意をもって自クラブ活性化!!

部長 今村 格

2022年10月1日(土)、九州部第2回評議会・メネットアワー・第41回九州部会をハイブリッド(対面&Zoom)にて開催しました。会場は熊本市国際交流会館で、評議会とメネットアワーを50名が参加できる固定式の円卓を備えた国際会議室で、部会は230名収容のホールで行いました。部会後の懇親会は、修復成った熊本城を窓いっぱいに見ることが出来る城見櫓に会場を移して開催しました。

結果、当初の想定を大幅に超える140名の参加があり、懇親会会場は、会場を2部屋に分けるかコロナ禍で避けるべき超過密状態を覚悟するかを最後まで会場スタッフと一緒に悩みました。結果、懇親会場としてふさわしいと判断した1部屋での開催としたのですが、体調に異変を感じれば参加自粛してもらえらるであろうとのワイズメンの良識に期待しながらも、終了後はクラスター発生の報告があるのではないかとおびえたこともありました。



熊本YMCA総主事・西日本区役員各位を来賓に迎え、評議会・メネットアワーは順調に開催できました。評議会は、一部の議案を協議案に変更する等の混乱はありましたが、ほぼ予定どおりに議事が進みました。メネットアワーでは、「これからのメネット活動について」と題して、吉本典子メネット委員会代表から、今期から体制が変わったメネット事業について改めてご説明いただきました。

しかし、会場をホールに移して開始した部会では、バナーセレモニーで流す準備をしていたBGM「Hooked on Classics」を会場スタッフに渡すのを忘れて、「いざたて」の伴奏が出ないから始まり、いくつものトラブルに見舞われながら、なんとか終了までこぎ着けました。

救いは、第二部のNPO法人トナリビト代表 山下祈恵氏による講演「親を頼れない若者達の現状」について参加者から高い評価をいただいたことです。それを反映する結果として、部会後の懇親会の席で田上理事の提案によりトナリビトの活動に対する部会献金が行われ、総額160,000円を超える献金が集まりました。参加者に感謝です。



九州部会も無事(?)に終わり、今期後半は来年6月の西日本区大会に向けた活動を主体に、九州部全体の盛り上げを図っていきたいと考えています。



京都パレスクラブ

京都パレスクラブ 50周年 「Thanks! YMCA」

“ラオスにYMCAを！”



■ YMCAのある国と地域

京都パレスクラブ 森田美都子

「ラオスにはYMCAがありません。最後に残された国ラオスにYMCAを作りたいのです！」2017年タイのチェンマイアジア太平洋地域大会でYMCA同盟総主事 Nam-Boo-Wan さんから熱い思いを伝えられた私森田は、帰

国後すぐに京都パレスクラブのチャーターメンバーでありラオス在京都人民民主共和国の名誉領事である大野嘉宏ワイズのもとへ。だが、仏教国で社会主義国にYMCAを介入する困難度は極限の厳しさと何度も過去に体験済みの大野名誉領事（大野ワイズ）から明かされた現実のラオス。

しかし大野ワイズは種々問題を覚悟の上で2019年の仙台アジア・太平洋地域大会で主たるメンバーを集め過去を踏襲しないやり方→まずはラオスに寄与する観光策「YMCA国際ホテル専門学校」を設立しようではないかの取り組みをスタートしたのです。

2022年5月、京都パレスクラブは50周年記念事業として1000万円を「Thanks! YMCA」の言葉と共にYMCA

に寄贈しました。このアクトは現実的にラオスにYMCAを作る足掛かりとなる事を願ってのお披露目でした。

50周年記念事業後、多くの皆様から賛同の素晴らしい声を頂いています。すでにご寄付も来ており「何らかの形で加担したい」「ワイズメンとしての喜びを分かち合いたい」

の意志を一丸となって実現に向けてのために我々は先ず「有志の会」を必ず来年に立ち上げます。

この事業は一つのパレスクラブだけの事業では決してあり得ません。最後に残されたYMCAの無い国ラオスにYMCAを設立し世界地図を塗り替えましょう！今後、西日本区・東日本区のワイズメンや知り合いの方々にご協力を広報し中長期事業としてしっかりと進み、あらゆるクラブに波及させながら力強くゴールを目指しましょう。

“オールワイズメンのご支援、ご協力を、どうかどうか切に切によりしくお願い致します！”

* 地図の説明：濃紺の部分がYMCAのある地域。水色地域はYMCAがない地域です。
東アジア、東南アジア地域でYMCAがないのは北朝鮮とラオスだけです。



贈呈式



11月の予定一覧

11月3日（木）10時～15時	瀬戸山陰部部会 Y M C A 太子遊びと冒険の森ASOBO
11月6日（日）16時～ （15時登録受付）	京都ウィングクラブ35周年記念例会 ホテルグランヴィア京都
11月7日（月）19時開会 （18時半開場）	（仮称）沖縄ワイズメンズクラブ設立総会 COMMUNITY&SPA沖縄セントラルホテル、ZOOM
11月12日（土） ①10時半～12時半（10時開場）	①ワイズCS活動事例の発表・研究会 宝塚市文化施設ソリオホール
②13時～16時（受付開始12時）	②六甲部部会 宝塚ホテル（新館）
11月12日（土）18時開会 （17時半受付開始）	京都ワイズメンズクラブ75周年記念例会 ANAクラウンプラザホテル京都 平安の間
11月19日（土）12時～15時 （受付開始11時半）	大阪泉北クラブ40周年記念例会 大阪YMCA 2F大ホール
11月19日（土）18時～21時 ・第1部 18時～18時50分 ・第2部 19時～21時	京都ブラックワイズメンズクラブ チャーターナイト ・第1部式典・第2部懇親会 ANAクラウンプラザホテル京都 平安の間
11月26日（土）13時～18時 27日（日）9時～15時	2022年度西日本区次期役員研修会 ①ホテルクライトン新大阪 ②ZOOM

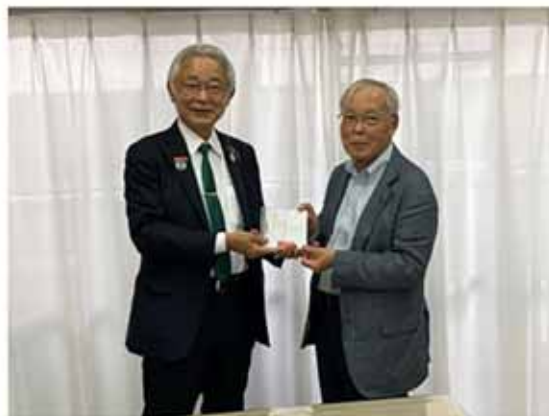
ロースター&ハンドブック データ引き渡し式

10月8日（土）、中西部部会を終えた足で、田上正理事と共に西日本区事務所へ向かい、西日本区ロースター&ハンドブックデータ引き渡し式を執り行いました。

三浦克文区報編集委員会委員長、大槻信二広報・情報委員会委員長、各委員会委員が見守る中、今まで西日本区のロースター制作を献身的に行っていた株式会社洛陽から貴重なデータが田上正理事へ引き渡され、これから、制作を担当される株式会社三浦印刷の三浦克文ワイズへとそのデータが手渡されました。

洛陽の岡本都特別メネットは所用でご欠席でしたので、事務所の坂本千春職員が代理を務め、無事に引き渡し式は終了しました。

書記 上村 眞智子



キャビネット便り

☆2023年6月10日開催の第26回西日本区大会まであと



今回は **阿蘇山** をご紹介します。

「阿蘇山」という山は存在せず、根子岳・高岳・中岳・烏帽子岳・杵島岳の5つの岳を総称して阿蘇五岳と呼ばれているのです。

第2回役員会2日目が開催された阿蘇YMCAキャンプ場から大観峰という場所まで足を延ばして五岳を眺めると、その姿は仏様の涅槃像に見えると昔から言われています。

四季折々の自然の中に悠然とそこにある阿蘇の五岳は、それはそれは美しく雄大です。



* 阿蘇の特産品

高菜、高菜漬け、高菜めし、肥後の赤牛、だご汁
白川水源の水、阿蘇米、乳製品など



* 阿蘇の見学コース No. 1 「阿蘇大橋」

5年前の熊本地震で落ちた阿蘇大橋と新しく出来た阿蘇大橋です。阿蘇に立ち寄られたら、必ず見学をして頂きたい場所です。

